

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 新任職員ガイド 上越市・小池 和美

- 4.5 トピックス 平成23年度 当会運営の基本方針・事業計画
- 3 視点 「地域課題を学ぶ拠点として」 魚沼市・森山 丈順
- 3 ひろば 「今、私達に」 刈羽村・太田十志行
- 6 実践記録シリーズ 「ノーバディズ・パーフェクト」 見附市
- 7 サークル交流 「歌声を響かせて」(柏崎市) / 「心を癒す花」(胎内市)
- 7 素顔拝見 山崎 麻衣さん(南魚沼市) / 清田 亮さん(阿賀町)
- 8 お元気ですか 星野 尹さん
- 8 ネットワーク 新潟県高齢者大学学生募集 / 恵贈資料紹介



ものづくり講座 三条市

表紙解説

三条市では「ものづくり」事業を推進しています。
今年は日本の伝統工芸である「陶芸」にチャレンジ！
世界に一つだけの手作りカップ、花入れなどを作りました。





平成23年度 当会運営の基本方針・事業計画

新潟県公民館連合会事務局 田原 理

2月22日(火)に開催された、当会の理事会・評議員会で平成23年度の「新潟県公民館連合会基本方針・事業計画」が承認されました。これに基づき、5月27日(金)に開催される今年度の第一回理事会・評議員会を経て実質的な事業が始まります。

当会運営の基本方針と事業計画の要旨を紹介いたします。

【基本方針】

新潟県公民館連合会は、平成22年度に創立60周年記念式典が終了して新たな歴史に向けて出発しました。

県内の公民館では、市町村合併後の新しい事業展開にのぞみ、自ら「公民館改革」に取り組みなど様々な活動をしてきました。しかしながら、市町村の財政状況は依然として厳しく、その予算措置が公民館職員の削減や事業の縮小等に現れました。また、当県公連では、新潟県町村職員退職手当組合の解散に伴う脱退清算金の精算が依然として続いており、市町村の「公民館月報」購入の大幅減少で収入

減になったこととあわせて新しい財務運営の対応が続いています。

このように厳しい情勢のなかであって、公民館では、従来に増して地域課題や人々のニーズをどのようにしてくみ取り、それらにどのように応えるかを考える必要があります。そして、実践に向けて工夫し、その成果を目に見える形で示せるように努めることが求められています。そのこととは、人々が公民館で「良き市民になるための学び」を実践し、人々の心が通い合う地域づくりを展開するという点でもあります。

公民館が「新しい公共」の場となるよう、学びの拠点、地域づくり・人づくりの拠点として一層活動を活性化させてその役割を果たすため、各行政機関・組織と連携し、市民の理解と協力を得ながら、次の5点を重点施策とします。

- 1 関係上部組織との連携
- 2 公民館職員研修の充実
- 3 情報提供事業の拡大

- 4 財政基盤の強化
- 5 事業の自己評価

【事業計画】

- 1 役員会

- 評議員会 2回(5月、2月)
- 理事会 3回(5月、6月、2月)
- 監事会 1回(5月中旬)

- 正副会長会 必要に応じ
- 2 専門委員会
- 編集委員会 2回(6月、12月)
- 自主財源確立のための調査検討委員会 2回(8月、12月)

【上部組織連絡会議・研修】

- 全国公民館連合会総会 1回(6月)
- 関東甲信越静公民館連絡協議会理事会・研修会 3回(5月、11月、2月)

【資料、刊行物の発行・斡旋】

- (1)新潟県公民館月報の発行
- (2)公民館関係資料の発行

- (3)月刊公民館の販売事務に協力
- (4)社会教育、公民館関係刊行物の紹介と斡旋

【社会教育機関、団体との連携事業、運動】

- 当会では次の関係機関・団体と連携・協力しています。
- ①新潟県教育庁生涯学習推進課、各教育事務所社会教育課、新潟県立生涯学習推進センター
- ②新潟県社会教育団体懇話会
- ③新潟県社会教育協会
- ④新潟県立図書館協議会
- ⑤明るく正しい選挙推進運動
- ⑥あしたの新潟県を創る運動
- ⑦健康づくり県民運動
- ⑧社会を明るくする運動
- ⑨新潟県青少年健全育成県民会議
- ⑩人権擁護運動
- ⑪新潟県読書推進運動協議会
- ⑫新潟県社会福祉協議会
- ⑬新潟県租税教育推進協議会
- ⑭いじめ根絶にいがた県民会議

information

関東甲信越静公民館研究大会茨城大会の開催について

東日本大震災により、当初予定していた今年度の関プロ茨城大会が予定通り実施できなくなりました。現地大会実行委員会では、関プロ加盟11都県からの意見を参考にして、下記のとおり開催内容を変更して準備を進めています。

- ①大会は開催する。
- ②開催規模を縮小する。分科会をやめる。
- ③開催期日を原発の影響を考慮して11月に。
- ④会場を被害の少なかった都心に近い「つくば市」で。
- ⑤1日開催(日帰り)にする。

なお、5月に予定していた理事会を9月頃に開催する予定です。変更された正式な開催要項等が届き次第、当紙やメール等でお知らせします。

視点

地域課題を学ぶ拠点として

魚沼市生涯学習室
社会教育主事 森山 文順



少子高齢化や過疎の問題はいよいよ深刻となり、今では「持続可能な社会」という、難解な言葉も使われるようになりました。それは、地域の課題を地域で解決しながら、将来にわたってその地域社会を継続させることだと理解しています。重要な考え方が、そのために地域の様々な課題が顕在化してきています。例えば、コミュニティ協議会の設立や、次代を担う子ども・若者の育成支援、また地域の医療問題や環境問題などです。それぞれの関係者はどのように取り組めばいいか、戸惑っているのが実情ではないでしょうか。

さて、そんななかで、私たちにアイデアを求められる機会が増えていると感じています。公民館は地域のなかで、集い、学ぶことのできる拠点として、真っ先に思い浮かぶ施設なのではないでしょうか。ここでは、地域に密着した実践的な講座から、全市を対象にした専門的な学びの場まで、様々な学習に対応することができそうです。

今、地域の未来を志向するなかで、公民館にスポットがあたっており、これまでに地域の中で定着してきたことを、改めて実感しています。そこに携わる私たちは、その特長を生かし、住民の生活課題の解決に向けた教育活動を模索していくのが、使命といえるでしょう。



私の仕事は、東北電力の配電線工事をしています。このたびの地震を受けて当日午後5時には第一陣を午後9時30分には第二陣を出動させ、およそ11時間をかけて東北に到着後、昼夜を問わず作業に当たって来ました。地震後一ヶ月経った今でも現地作業を交代で行っています。現地ではテレビ

H O T N E W S 掲 示 板

ノンフィクション作家「金森敦子」講演会 ～「江戸の旅」語りの第一人者～

講演テーマ 「少年たちの無銭旅行」
と き：平成23年5月23日（月）
午後3時30分～5時
と ころ：新潟東映ホテル2F・朱鷺の間
〒950-0901 新潟市中央区弁天2-1-6
Tel.025-244-7101
参加費：社会教育協会員は無料（一般500円）
定員先着80名
問い合わせ：新潟県社会教育協会
〒951-8053 新潟市中央区川端町2-9
Tel.025-228-2419

働く女性の異業種交流会「WWA」 新潟県内で働く女性の異業種交流会WWAの事業紹介 (Working Women's Association)

特定非営利活動法人ワーキング ウイメンズ アソシエーションでは、「仕事」にまつわる様々な事業を行っています。ビジネスや女性向け研修講師の紹介も行っています。

〈6月までの事業〉

- リーダーのための「相手を動かす！」対話力セミナー
5月15日（日）13：30～ 長岡商工会議所
講師：小柴真由美（元テレビ新潟アナウンサー）
- 働く人の「仕事と心」ワークショップ
6月25日（土）13：30～ コープシティ花園ガレット
講師：宮川一二三（EAP専門家、産業カウンセラー）

問い合わせ：特定非営利活動法人WWA
〒950-2004 新潟市西区平島1-16-5
Tel.025-233-5983

今、私達に

ひろば

刈羽村社会教育委員 太田 十志行

「日本沈没」と言う小説が1973年に出版されました。その後映画化され2006年にリメイク版も製作されていますので多くの方がご存知かと思いますがまさにこの小説を髣髴させるような一東北地方太平洋沖地震が、3月11日午後2時46分に震源地マグニチュード9の大きな地震発生となりました。今迄に経験した事のないような大きな揺れが長時間にわたり、その後津波が押し寄せる等広範囲に渡って大きな被害が発生しました。

私の仕事は、東北電力の配電線工事をしています。このたびの地震を受けて当日午後5時には第一陣を午後9時30分には第二陣を出動させ、およそ11時間をかけて東北に到着後、昼夜を問わず作業に当たって来ました。地震後一ヶ月経った今でも現地作業を交代で行っています。現地ではテレビに映る映像以上の惨状であり元に戻すには気が遠くなるような状況であります。一歩一歩確実にライフラインの復旧に向けた努力をしております。

員ガイド

多くのネットワークを築いたり、施設など社会資源を知っておく必要があります。

この3つのキーワードを大切にしたいものです。

○講座運営で大切なこと

講座で大切にしたいことは、学習活動にストーリー性を持たせることです。なぜ、この講座を行うのか、どんな人を対象にするのか、どういった学習計画で進めるのかということを、丁寧に考えて取り組んでいくことが理想です。

実際に講座を開講してみたら、予定と違った方向に進むこともあるかもしれません。その場合は、講師の方や受講生との話し合いの中で、良い方向を見つけて講座を進めていきます。

人が出会い、同じ活動をする中で、親睦を深め、学習課題を深める。そして閉講するころには、学びをこれで終わりにするのか、次に続けていくのかを、受講生同士で話し合い、グループができることもあります。これは公民館職員としては、嬉しいものです。(もちろん、そう全てがうまく進むとは限りません。失敗は成功のもと。クヨクヨしないことが大事です)

他にも、講座運営で大切だと思う点を下記にまとめておきますので、心に留めてみてください。

- ・講師との打合せを密に行い、準備を怠らない。気持ちに余裕を持つことができます。
- ・受講生に学習テーマを意識してもらうために、配布する学習のしおり(計画表や資料など)を用意したり、学級日誌を順番に書いてもらう。
- ・公民館や参加されている講座に対して、一生懸命考えている人の心を大切に。新しい提案がなされて、おもしろい取り組みができるかもしれません。
- ・一緒に楽しむ(講師におまかせして、事務所に引きこもってばかりだと、講座の雰囲気を感じられません)

○心豊かに生きるために

近年、地域では、さまざまなNPO団体や趣味サークルなどが新しく発足し、活発な活動を展開されている一方で、住民に身近な公民館では、職員の減少、主催講座の縮小、既存の地域における社会教育団体(婦人会や老人会、体育協会など)や自主学級の高齢化による活動の停滞など、さまざまな課題を抱えています。

公民館の存在感が失われてきているように感じることもあります。それでいて、公民館に地域の方から期待されることも多いのではないのでしょうか。課題はありますが、あせらず、じっくりと経験を積んでいくことで、私たちは、やりがいを感じるができると思います。住民に一番近い公民館で、ささやかな学びの営みの一つ一つを大事に見守っていききたいものです。

2006年に改定された教育基本法では、第3条に、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない」と定められました。

地域で、心豊かに、健康に暮らしていけるように、公民館はその一助を担っています。だからこそ、職員がまず、心豊かに健康でいたいものです。普段から、心と体を動かして、さまざまなことに関心を持ち、人生を楽しみましょう。季節の移ろいを感じるように、地域の方々と一緒に花や作物を育てるのも良いと思います。

公民館は楽しい!楽しい所に人は集まります。皆さん一緒に頑張りましょう。

・参考文献(月刊公民館2010年4月号)

特集



上越市教育委員会
公民館事業係
主任 小池 和美

この春、公民館職員になられた皆さん、ようこそ公民館へ。私も、公民館職員としては、まだまだ経験が浅い方ですが、私が仕事の上で、日ごろ心がけていることを、皆さんにお伝えしていきたいと思います。

○出会いを大切に

皆さん、気持ちのよいあいさつをされていますか。利用者の方と「おはようございます」「ありがとうございます」「お疲れ様でした」といったあいさつを、笑顔で行い、積極的にコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていきましょう。

地域の方々といろいろなやりとりをしていくうちに、共通の話題があったり、教えていただくこともあります。出会いを大切にしていくことで、自分にとってかけがえのない協力者が現れるかもしれません。

また、地域について、学ぶことも大切です。ご自分の住んでいる土地であっても、わからないことがたくさんあると思います。

地域の地理、歴史、文化、産業などについて関心を持ち、その公民館と地域の関係性についても、敏感に感じ取ってください。地域によって、いろいろな公民館があることがわかります。

まずは郷に入って見て、その公民館にどのような人たちが集まって、どのような特徴的な活動をされているのか、知ろうとする姿勢が大切だと思います。

○常に考える「公民館とは？」

公民館は、戦後に制定された社会教育法に基づき、全国各地に設置されました。

社会教育法第20条の公民館の「目的」には、「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、

新任職

実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」と定められています。

このように、公民館という場所は、ただ単に人が集まる場所を貸しているだけではないことを、心に留めておくことが大切だと思います。

公民館に関係する法律としては、教育基本法、社会教育法、地方自治法などがあります。これらにも一度目を通したり、公民館にある公民館関係の書物を読んだり、いろいろな研修会に積極的に参加するなど、学びつづけましょう。

一般の方に「公民館とはどういう所ですか？」と聞かれたら、自分の言葉で答えられるように、私もいつも「公民館で何なんだろう？」と考えています。まだまだ自信をもって公民館を語ることはできませんが。

○公民館の役割

公民館の基本的な役割として、「つどう」「まなぶ」「むすぶ」という3つのキーワードがあります。

「つどう」…地域の課題を解決するために話し合う場であり、それを助ける場でもあります。また、フリースペースでは、ふらっと気軽に、自由に立ち寄って、時間をすごすことのできる場、放課後の子どもたちのつどいの場でもあります。

「まなぶ」…趣味や教養を高める場です。個人での学びを深めるとともに、仲間と学ぶ喜びを得られる場です。主催講座を実施したり、サークル団体に場所や道具を貸したりもします。住民の学習相談にも応じます。

「むすぶ」…地域にある、各種のサークル、団体がつながり、人と人の輪が生まれる場です。地域の人と人がつながっていくためには、職員自身に

実践記録

158

シリーズ

「ノーバディズ・パーフェクト」

見附市葛巻公民館 総括主査 長谷川 裕恭

論文が苦手なので問答形式にさせていただきました。県内の皆様、ご一読いただければ幸いです（って、4年ほど前にも同じ書き出しをした気が…）。

「ノーバディズ・パーフェクト」って？

「ノーバディズ・パーフェクト」(以下、NP)は「完璧な親もいなければ、完璧な子どももない」という考えがもとになった、カナダ生まれの子育て・親支援プログラムです。参加者は、少しの間お子さんと離れ、ホッとひと息つきながら、子どものことや暮らし、家族のことなどからテーマを出し合い、話し合っていきます。そのなかで、育児の悩みや不安を解消し、自信を持って楽しく子育てができるよう、ヒントを見つけ出すことがねらいです。

事業のきっかけやその背景は？

見附市でNPを活用した子育てセミナーを始めたのが平成19年。当時、県内でいち早くNPに注目し、活動に取り入れていた「にいつ子育て支援センター・育ちの森」(新潟市)から、「NPファシリテーター」有資格者のスタッフを招き、以来3年間にわたり開催してきました。その間、県内でもNPの成果や有効性が知られるようになり、当市でも、昨年度には母子保健担当の保健師が個人的にNPファシリテーターの資格を取得しました。

すると、昨年は取り組み方に変化が？

そうですね。過去3年間は、セミナーの内容や参加者の満足度には手応えを感じていたものの、終了後のフォローが課題でした。身近な地元でファシリテーターがいれば、その解消につながると考えてはいたんです。そこで、昨年秋のセミナーでは、資格を取得した保健師とそのお仲間のファシリテーターから二人で進行を担当してもらいました。さらに、子育て支援センターで活動する家庭児童相談員からも記録係として運営に参画してもらいました。

わくわく子育て教室～ノーバディズ・パーフェクト

■日程(9月～10月の毎週水曜日、全6回)

第1回：はじめまして

(自己紹介、ルール決め、テーマ決め)

第2回：子どもの遊びと安全

第3回：子どもの叱り方・しつけ

第4回：子どもの生活の流れ～夫や家族との関係～

第5回：自分の時間の使い方

第6回：これからもよろしくね(自主サークルへ)

※時間は午前10時～12時、会場はいずれも見附市保健福祉センター。希望者には託児あり。



第1回の様子。初対面のカタさも、話し合いが始まると意外とあっさりほぐれていきました。全6回の出席率は、ほぼ100%。

どんな成果が上がりましたか？

開催時間を従来の午後から午前に変更したこともプラスに作用し、参加申込みも比較的順調に集まりました。セミナーは終始なごやかな雰囲気が進み、また、話題が深刻でデリケートな部分に入り込んだときも、励ましの声かけや、自分の経験を踏まえたアドバイスが出るなど、お互いに支え合う様子が随所に見られました。特に昨年は、参加者同士の仲間意識が例年以上に強かったようで、終了後には、サークルとして自主的な集まりをもつことになったんです。中央公民館を定期的に利用し、それぞれお子さんとも一緒に連れて情報交換をされています。

もう一つは、関係部署との連携・協力関係の大切さを再認識できたことですね。見附市では「子育てするなら見附！」のキャッチフレーズのもと、子育て支援を施策の柱の一つとして掲げています。同じ施策のもと、内容としては類似の取り組みを、それぞれの部署がバラバラに行っていたのでは、効率も悪いし、そもそも市民にわかりづらいですね。おまけに、公民館では「参加が集まらない」、子育て支援センターでは「仲間づくりにつながらない」、担当部署では「地域に広がらない」と悩んでいる。だったら、お互いが把握している人材や、持っているノウハウを提供し合って、一緒に活動してみましようよ、ということなんです、そもそもの発想は。

今後の課題とその対策は？

参加者の満足度からもう一步踏み込んで、自主サークル化へと進むことができたわけですが、サークルとのかかわり方、支援のあり方が新たな課題ですね。定期的に活動の様子を把握するとともに、運営についての相談役を果たす必要があると思います。

また一方では、参加者の中から、NPに限らず、子育て支援を「する」側にまわってくれる人材を見つけ出していきたいですね。そのためには、今後もこうした取り組みを地道に行って、一つ一つ実績を積み重ねていかなきゃいけないと思っています。

歌声を響かせて

コーラスすばる



市の生涯学習合唱講座修了者が同じ講師を迎え、普段は複数の合唱サークルに分かれ概ね月2回練習しています。

柏崎シニア合唱団はその集合体で、昨年十周年の節目を迎え、百人超の大編成コンサートを成功させました。

最近合唱団としてボイストレーニング等レベルを上げて一層歌声に磨きをかけ、私達の頑張りで大勢の人々に届けたいと思っています。

小中学生・福祉施設等との交流音楽会、見聞を広める旅

行・芸能鑑賞等の催しも織り込んだ活動をしています。

当面の目標は、来年竣工する当市震災復興のシンボル新市民会館アルフォーレで、心地良い歌声を会場一杯に響かせることです。

柏崎市・コーラスすばる
会長 山田 正彦 記



「心を癒す花」

「野の花会」

小さな花アレンジは、平成十二年に「野の花会」としてスタートして以来、地域でたくさんの方々の輪を広げています。

現在、村上市内で三教室と胎内市で一教室が行われてお



り、各公民館で月一回の稽古を重ねながら、家族には美しい花の香りを届け、地域の施設へは毎年ボランティア活動で花の楽しさを届けて、それぞれに大変よろこばれており、それが自分の元気の源につながっています。

小さな花のアレンジは、まるで魔法にかけられたように夢中になり、楽しくて、身も心も軽くなります。

健康で、こんな時間を持つ日々感謝しながら、次回の再開を心待ちにしています。

胎内市野の花会

代表 関 文恵 記

南魚沼市社会教育課の新人山崎麻衣さんを紹介いたします。

山崎さんは、新採用としてこの4月から社会教育課（中央公民館）に勤務しています。席が一番窓口に近いということもあり、今は積極的に窓口や電話対応にあたっているところです。これから押し寄せてくる様々な事業の荒波に向けた準備中といったところでしょうか。

また、平成生まれの山崎さんの存在が、南魚沼市では手

南魚沼市社会教育課（中央公民館）

主事 山崎 麻衣さん



素顔 拝見

本人の希望により昨年4月から公民館に異動して来られ、即戦力として活躍している清田亮さんをご紹介します。

彼は今、町民の求めているものは何かに視点をおき、課題をきちんと把握したうえで計画・実践するので公民館事業に新風を吹き込んでくれています。講演会や美術探訪、子どもたちの活動等においても学芸員の資格を活かし、芸術的センスを随所に取り入れています。それらの新しい思いと受け継ぐ

阿賀町社会教育課阿賀町公民館

主事 清田 亮さん



べきことを相容れ、公民館を担って行ってほしいと思います。

プライベートでは、昨年長男が誕生し、3人の子どものパパです。優しい奥様と子どもたちに見守られながら、これからますます公民館を引っ張ってってくれるものと期待しています。

(阿賀町社会教育課阿賀町公民館 係長 飛田野小百合 記)

薄な若者対象事業の活性化に繋がっていけばなあ…と、私たち昭和生まれにはなくなってきた若さと柔軟さに期待しているところです。

本人が言うには性格…おっとりタイプ（実は強気）、趣味…音楽鑑賞、仕事…早く覚えてテキパキこなせるよう頑張ります!! だそうです。

(南魚沼市社会教育課（中央公民館）主任 山田清輝 記)

恵贈資料紹介

「新潟県PTA活動の手引き」新潟県教育委員会編

○新潟県教育委員会では、このたび、「新潟県PTA活動の手引き」を発刊しました。

少子化でPTA会員数の減少や役員負担感の増大、会員の連帯感や参加意識の希薄化、活動のマンネリ化など、PTAが持つ様々な課題の解決に役立つことを願って作成されました。冊子は、基本編・実践編と資料編の63ページで構成されていて、PTA活動の未経験者でも解るように、イラストや写真を豊富に掲載して読みやすい編集になっています。



お問い合わせ連絡先

新潟県教育委員会生涯学習推進課

電話 025-285-5511 (代表)

*新潟県教育庁のホームページにも掲載されています。

実証「地域力」醸成プログラム

○平成19年度から鳥根県から委託を受けて実施している「実証「地域力」醸成プログラム」事業をまとめた平成22年度版事業報告書が発刊されました。これまでに事業成果を上げた72の公民館や団体の取組をすべて紹介して155ページにまとめてあります。

平成22年度は、モデル公民館の主体的な学習・実践活動に結びつけていく様子をDVDにまとめて紹介し、その取組が県内外から注目されています。

お問い合わせ・連絡先

鳥根県公民館連絡協議会事務局

(鳥根県教育庁社会教育課内) 担当：山本 一穂

電話 0852-222-5429



鳥根県公民館連絡協議会

新コーナー!!

お元気ですか



立 桜又自然愛好会々長 星野 尹 (魚沼市)

退職13年目となり、73才となった。60代は事務の手伝い、公園管理などで小遣錢稼ぎをしながら、趣味の切花栽培の技術修得をした。体力も充実していたので月1回くらい、登山に親しんだ。70代に入り、在職中の夢だった、趣味と実益が半々の切花栽培を始めた。3年目で6月から10月半ば迄7種類の草花の継続出荷ができた。家計にも役立つことから、妻も喜んで手伝っている。生涯現役の予定である。集落内もリタイヤした方が増えてきた。平成11年村の有志が集まり、自然愛好会という、ボランティア組織が作られた。その組織により、昨年芝桜公園で有名になった県立公園を起点に、尾根伝いに2.5kmの遊歩道が完成した。

Network ネットワーク

新潟県高齢者大学学生募集

新潟県高齢者大学では、平成23年度の学生を募集しています。

- 1 入学資格 ・県内居住のおおむね60歳以上の方
・学習の成果を地域活動に役立てるなど社会参加意欲のある方
・パソコン講座希望者は、パソコン文字入力に不安があるなどの初心者

2 講座の種類と募集定員

Table with columns: 講座の種類, 学習年限, 講義日数, and 募集定員 (新潟, 新発田, 長岡, 湯沢, 上越).

3 申し込み、問い合わせ

新潟県高齢者大学事務局 (新潟県社会福祉協議会 地域福祉課)
〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3F
Tel.025-285-1400

土砂災害防止月間

～ みんなで防ごう土砂災害～

6月は「土砂災害防止月間」です。土砂災害から人命・財産を守るため、土砂災害に関する防災知識の普及、警戒避難体制の整備を推進します。

新潟県治水砂防協会

会長(出雲崎町長) 小林 則 幸

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事務局長のつがやき
事務局の脇にある信濃川「やすらぎ堤」は桜の名所でもあります。今年は見事な開花でしたが、4月28日現在では葉桜状態になりました。これからは八重桜とチューリップが見ごろに

なります。地震で避難されている方たちは、どんな思いで花を見たのでしょうか。故郷の花を思い出して辛い思いをした方もいたことでしょう。

(田原)